

## 第2回京田辺市議会「議会報告会」 報告書

○京田辺市議会は、京田辺市議会基本条例第7条の規定に基づき、「第2回京田辺市議会『議会報告会』実施要綱」を定め、平成28年4月26日夜7時より、京田辺市中央公民館第1研修室において、第2回京田辺市議会「議会報告会」(以下「議会報告会」)を開催した。

当日の参加者は、議員等をのぞいて37名(受付名簿記入者数)であった。

○「議会報告会」は、議会運営委員会が主体となって開催し、式次第、報告内容、進行などについて、議会運営委員会で協議し決定した。

○当日の次第は、司会は市田博議会運営委員長がつとめ、最初に松村博司市議会議長が開会あいさつをし、次いで平成27年度に各常任委員会において審議した主な議案等及び所管事務調査の内容について、それぞれ10分間程度で報告し、平成28年第1回京田辺市議会定例会に設置された予算特別委員会における予算審議内容と結果を15分程度で報告した。

それぞれの報告者は、河本隆志総務常任委員長、青木綱次郎文教福祉常任委員長、鈴木康夫建設経済常任委員長、岡本茂樹予算特別委員長が、つとめた。各報告の概要は別紙資料の通りである。

○報告の後に約10分間の休憩をとり、参加者からの質疑及び意見交換をおよそ30分間程度、おこなった。

### 参加者から出された質疑、意見

・「昨年の議会報告会のアンケートで、夜に開催されると子育て世代は参加できないので昼に開催してほしいと要望した。子育て世代の意見も聞いてほしいので昼の部などぜひ検討してほしい。議会傍聴で子連れの傍聴は可能なのか。傍聴の時のアンケートはどうなっているのか。」

・「議員や行政がどんな街にしようとしているのかというビジョンが見えてこないので質問も出しづらい。自然がどんどん壊され農地も減っている。伝統文化もどうなっているのか。田辺のまちをどうしようとしているのか見えてこない。それが見えないと質問しようもないのに、議員として、行政として示してほしい。正職員を増やしてほしいが、市の人件費はどうなっているのか。」

・「松井財産区とは何か。保育料のみなし寡婦控除適用について、未婚のひとり親を承認しているような感じがする。」

- ・「10分間での報告は難しい。資料は読んでわかるものにして別のこと話をしたらどうか。インバウンドの増加についての対応は。」
- ・「こうやって質疑の時間をとるのは非常にいいことだ。あなたと話したいという姿勢で良い。議会基本条例はできたが、議員による条例制定のためには、議会事務局の能力を付けるべきではないか。議会の方がもっと私たちの近くにいるのだから、議会こそもっと市民参画に力を入れるべきで、そのためにも議会事務局の能力を高めるべきだ。」
- ・「議員が選挙の時に掲げたマニュフェストはどういう形で反映しているのか。議員は自分のマニュフェストに対する評価を市民に知らせてほしい。」
- ・「また議会報告会を開催してほしい。ゴミ有料化とはどういう内容か」
- ・「議案の採決結果では、全員賛成とそうでないものがあるが、そうでないものは賛成何人かなど示してほしい。」

これらの質疑等に対しては、議長及び議会運営委員長、対応する各委員長が回答などをした。

○最後に、櫻井立志京田辺市議会副議長が閉会あいさつをおこない終了した。

○参加者にアンケート用紙を配布し、協力を呼びかけたところ29通の協力があった。  
アンケート結果の内容は以下の通りである。

#### ▼参加者の年齢・性別について (10代、20代はナシ)

30代：3.4% 40代：3.4% 50代：6.9% 60代：65.5% 70代以上：20.7%  
男性：86.2% 女性：13.8%

#### ▼議会報告会開催を知った手段

議会だより：44.8% 市ホームページ：6.9% お知らせチラシ：24.1% その他：27.6%

#### ▼開催日時・会場について

これで良い：65.5% 変更した方が良い：20.7%

#### ※自由記述欄

- ・一般市民が参加しやすいよう、住民センターなどでも開催してほしい。
- ・土曜日の昼間の可能性は如何？
- ・平日10～12時、託児サービス付でお願いします
- ・これ以外に、他の日程、会場で開催されたら。

- ・多数の参加を望むならば休日の昼間の方がベター
- ・回数の増加。各委員会の報告時間が短くて、説明者も十分お話できなくてかわいそうである。よって、6、9、12、3月に行われた後に、開催されてはどうでしょう。よって年4回行ってほしい。
- ・「議会だより」の前にこれを実施してもらいたい（土曜日のこの時間帯）
- ・今回のやり方ではこれで良いと思う。ただし、3の設問の関連で、委員会毎に開催日を分散した方が良いのではと思いました。
- ・回数を増やす、時間帯をいろいろにする等、幅広く参加できるようにしてほしい。夜は男性は出やすいだろうが、女性は出にくいくらい。
- ・報告会のレジュメは全市民に先に配布してほしい。書いてある事を読むだけの報告でだめ。
- ・夏場に開催される場合はもう少し遅い時間が良い。

### ▼参加しての感想

とても良い：3.4% 良い：41.4% 普通：31.0% 悪い：6.9%

#### ※自由記述欄

- ・一人10分の説明ということもあり、少し理解に苦しむ箇所あり！  
全体的に説明時間が短い。20分程度必要。予算特別委の説明－審査項目だけでなく簡単な結論、答弁がほしかった。時間が短い。2時間は必要。
- ・実質的にはじめてとしてはまずまずと思う。通り一遍の報告でなく、議論の内容、委員会としてどのような動きをしてきたが（積極的に）これからどのような取り組みをしていきたいかなど、市民の期待に沿う活動をしてほしい。
- ・質疑応答の時間をもっと増やしてほしい。議会に関心がない人にも関心を持っていただけるように工夫してほしい。
- ・初めての報告会であり、構成は不慣れなところからやや不満があるが、概ね良好であった。
- ・時間が短くて理解するのに努力が要った。議会の内容がわかってとてもよかったです。
- ・初回としては良かったのではないか。しかし、上に記入しているように続けてやっていただきたい。
- ・今後は定例的に実施してください。
- ・各委員会の報告時間が短い。もう少し、時間をかけた方が良いと思う。
- ・報告内容を理解しがたい
- ・時間制約で各委員長からの説明が、棒読み的であり、もっとポイントを絞って話した方

がよいのではないか。質疑応答は有意義であった。

- ・受付で受け取った資料のまま読み上げるのでは、資料をもらうだけで済む。もう少し踏み込んだ内容を期待していたが、期待はずれだった。
- ・たくさんの市民を集めようという姿勢が弱い。（広報車などを走らせて知らせる）
- ・議会だより（文字）を見ているだけでなく言葉（話）で聞くことが出来たので、より身近に感じた。時間が少ないのでないか？
- ・報告が早口で理解できなかった。今後は簡単説明をお願いしたい。今後も年1回だけでなく回数を増やす様にしてほしい。

#### ▼議会だよりについて

読みやすい：13.8% 普通：69.0% 読みにくい：6.9%

##### ※自由記述欄

- ・もう少し、各委員会の審議内容を詳細に知らせてほしい。本会議だけでなく、委員会もテレビ中継していただきたい。
- ・議会だよりと報告会をセットのものとして考え、重複したことなど、でなくしてほしい。
- ・A4版冊子に変更したら如何。市の広報も同様にA4版へ変更されたら。
- ・説明が不十分
- ・興味がなかった為、余り読んでいないので、今後は読んで意見、相談等できるようにしたいと思ってます。

#### ▼その他の自由記述欄には6名の方から意見が寄せられた。

- ・内容、運営についてはいろいろ問題もあるが、こうした機会をもたれたことは、本当にすばらしいことだと思います。1回1回充実してもらってはどうかと思います。
- ・議会報告会は1時間半では十分な報告が出来ない。時間を長くすることは難しいので、回数を増やして、内容を充実（委員会ごとなど）してほしい。
- ・議会だよりは内容が固く身近な感じがしない。報告会という形式は、わかりやすい、身近な議会運営として、非常にいいと思う。
- ・1. 各常任委員会の報告を10分間で詳細に説明することは困難と考える。従って記載内容を只、読むのではなく、大事な内容を中心としたコンパクトな説明、報告の方法を検討願いたい。

2. 最近のインバウンドの増加、4年後のオリンピックを機にここ京田辺にも多くの外国人が来訪する可能性がある。(アニメの一休さんは東南アジアを中心に世界的に有名になっている) については安心安全に外国人に京田辺に滞在してもらう為に不明確な交通ルールを統一すべきと考える。(例えば駅やビルのエスカレーターの並び方など)

- ・もう少し焦点を絞って報告をされたら如何。総花的で感動が伝わって来なかつた。
- ・全体を4会場くらいに分けて、夫々、報告会がなされたらもっと細かい報告内容が聞けると思う。総務委、文教福祉委、建設経済委、予算特別委、4ヶ所に分けて異なる日時、会場でされたら関心のあるところに住民が集まるのではないか。
- ・議員さん達には時間的に負担をおかけしますが、定期的に報告会を開催して頂きたいです。議会の傍聴より短時間で市の様子がわかつていいと思いました。

後記：上記を記入後に桜井議員より定期開催を言って頂きました。有難うございます。

- ・議会報告会開催の努力を評価する。
- ・委員会委員長報告10分間は短すぎる。具体的な検討課題を述べられた方がよいのではないか。
- ・議員立法提案できるよう議員団は奮闘すべき。